

FRANCE

PROGRAM PART3

ACO 愛知室内オーケストラ
Aichi Chamber Orchestra

第77回定期演奏会
The 77th Subscription Concert

2024 **7/4** ^{Thu}
(木)

フランス・プログラム シリーズ 第3回

この公演はオーケストラのファゴットをフレンチバスンで演奏します

開演 **18:45** 開場 18:00

愛知県芸術劇場コンサートホール

- シャブリエ/田園組曲
- ルーセル/交響的断章「蜘蛛の饗宴」Op.17
- イベール/交響組曲「パリ」
- ブーランク/シンフォニエッタFP.141

バソンによる 近代フランス音楽の 色彩復古



指揮
ステファン・ドゥネーヴ
Conductor/Stephane DENEUVE

©J.Henry Fair



テオ・サラザン
バソン/Bassoon/Theo SARAZIN
パリオペラ座管弦楽団の第1首席バスン奏者
本公演の首席バスン奏者として出演

[全席指定] 4月5日(金)発売
[ACO会員先行販売期間4月1日(月)~3日(水)]

	SS席	S席	A席	B席
定 価	8,000円	6,000円	4,500円	3,000円
U25券	—	3,000円	2,250円	1,500円
小中学生券	—	500円	500円	500円
ペア席	12,800円	9,600円		

公式HP
(座席指定可能)

- プレイガイド
- ◎愛知芸術文化センタープレイガイド TEL:052-972-0430
 - ◎アイ・チケット TEL:0570-00-5310 clanago.com/i-ticket
 - ◎チケットぴあ https://t.pia.jp/ Pコード:256-726
- ※名古屋音楽学校でも取り扱っております。

※U25券、小中学生券はACO公式ホームページ、愛知芸術文化センタープレイガイドのみの取り扱い。
※U25券は公演当日要身分証明書。※未就学のお子様のご入場はご遠慮下さい。

◎主催：一般社団法人愛知室内オーケストラ ◎特別協賛：医療法人 葵鐘会 ◎後援：愛知県/名古屋市/愛知県教育委員会/名古屋市教育委員会/日本ファゴット(バスーン)協会
◎助成：公益財団法人 ロームミュージックファンデーション

公演についてのお問い合わせ 愛知室内オーケストラ TEL:052-211-9895 (平日10時~17時土日祝休業) <https://ac-orchestra.com>

フランス・プログラム・シリーズ ~バソンによる近代フランス音楽の色彩復古~

フレンチバソンは、特有のフランス和声や自由な調性感に基づく音楽、例えばドビュッシーの風景に漂うかのような儂げで流動的な色彩変容やアンニュイな雰囲気、またラヴェルの水滴が眩い光を放ちながら弾けるような洗練された感覚と透徹した知性の表現、超然としたサティ、クールでスタイリッシュな6人組の新古典主義、深化したメシアンにさえ素晴らしい効果を発揮する楽器でありながら、今ではフランスでもほとんど使われていません。しかし重要なことは、「我々が普段ファゴットで聴き慣れている近代フランス音楽の大半は作曲家がバソンの音色をイメージしてアンサンブルを想起したものであること」です。完成度の高い楽器が存在している現代の奏者は、バソンを使い分けた表現拡大の可能性をもっと追求すべきであると考えています。現代のオーケストラ奏者がバソンをきっかけとして、他の木管や金管にインスピレーションを与え、さらに弦が触発されて瑞々しく鮮やかでメロウな美しさを生み出し、合奏体として音のパレットをより多彩にし、12色の絵の具が24色になってほしい、そしてその新たなレゾナントを、現代の聴衆が普段とは異なるマチエールにより実音で体感できることに意義があります。



指揮/ステファン・ドゥネーヴ

Conductor/Stephane DENEVE

セントルイス交響楽団音楽監督、ニュー・ワールド交響楽団芸術監督、オランダ放送フィルハーモニー管弦楽団首席客演指揮者。シュトゥットガルト放送交響楽団首席指揮者、ロイヤル・スコティッシュ・ナショナル管弦楽団音楽監督を経て、現在フィラデルフィア管弦楽団首席客演指揮者、ブリュッセル・フィルハーモニー管弦楽団音楽監督の要職にもある。その卓越した演奏とプログラム作成は国際的にも高く評価されており、世界の一流オーケストラやソリストとともに、主要なオーケストラへ頻繁に出演している。ヨーロッパでは、ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団、バイエルン放送交響楽団、フランス国立管弦楽団、ウィーン交響楽団、ベルリン交響楽団、フィンランド放送交響楽団、ロイヤル・ストックホルム・フィルハーモニー管弦楽団(2020年ノーベル賞コンサートの指揮者として)等と共演。その他、ニューヨーク・フィルハーモニー管弦楽団、シカゴ交響楽団、ロサンゼルス・フィルハーモニー管弦楽団、サンフランシスコ交響楽団、トロント交響楽団、ワシントン交響楽団、香港フィルハーモニー管弦楽団、NHK交響楽団などのオーケストラを定期的に指揮している。2023年には、小澤征爾松本フェスティバルにてサイトウキネンオーケストラを指揮した。才能豊かなコミュニケーターであり教育者でもあるドゥネーヴは、次世代の音楽家や聴衆を鼓舞することにも力を注いでおり、定期的に若者たちと共演している。



バソン/テオ・サラザン

Bassoon/Théo SARAZIN

パリ・オペラ座管弦楽団の第1首席バスーン奏者。現代におけるフレンチバソンの代表的な演奏家として国際的に知られる。フランス・カーン生まれ。パリ国立高等音楽院でジルベール・オダンとフィリップ・ハノンに師事。ミュンヘン音楽大学ではダーク・イェンセンのもとで研鑽を積んだ。2016年スイスで開催されたムーリ国際コンクールで入賞し、若手芸術家賞を受賞。これまでに、グスターボ・ドゥダメル、フィリップ・ジョルダン、ミッコ・フランク、パーヴォ・ヤルヴィ、グスターボ・ヒメノ、ファビオ・ルイーゼ等のタクトで、フランス放送フィルハーモニー管弦楽団、フランス国立管弦楽団、パリ室内管弦楽団、ルクセンブルク・フィルハーモニー管弦楽団、モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団等、フランスおよびフランス語圏の主要オーケストラに定期的に客演している。2024/25シーズンはパリ・オペラ座での活動に加え、カーン管弦楽団とジョリヴェのバスーン協奏曲で共演するほか、セリム・マザリ(ピアノ)とのデュオリサイタルをパリで開催する。ビュッフエ・クランボンやジュリアン・アルディと協同してバソンの楽器改良にも取り組んでいる。

ACO 愛知室内オーケストラ

Aichi Chamber Orchestra



2002年、愛知県立芸術大学出身の若手演奏家を中心として発足。定期演奏会をはじめ、医療法人葵鐘会(愛称:ベルネット)の支援・プロデュースによる特別演奏会など積極的な活動をしている。2015年から6年間に亘り新田ユリを常任指揮者に迎え、2019年7月、フィンランドのリエクサ(リエクサ・プラスウィーク)とヘルシンキの2都市で公演をおこなう。2020年、<モーツァルト・グラン・バルティータ&ディヴェルティメント第2番>をCDリリースし、レコード芸術誌「特選盤」に選出される。創立20周年となる2022年4月、山下一史が初代音楽監督に就任。2023年4月、権代敦彦が初代コンポーザー・イン・レジデンスに就任。2024年4月には原田慶太楼が首席客演指揮者兼アーティストック・パートナーに就任。



産婦人科グループ

医療法人 葵鐘会

医療法人葵鐘会(愛称:ベルネット)は、愛知県・岐阜県・静岡県・神奈川県・千葉県・大阪府に展開する産婦人科グループです。地域の特性に応じた各産科医療施設を整備し、「ベルネット」として連携を図ることで、地域に根差した高いレベルの医療サービスを提供しています。



Limage

wine & dining

ワイン&ダイニング リマージュ

名古屋市中区丸の内3-22-24
名古屋楼通ビル1F

TEL 052-971-7772

予約受付/10:30~22:00 定休日/日曜日・祝日



名古屋最高峰の中国料理レストラン

瑞瓏

ZUIROU

前名古屋マリオットアソシアホテル中国料理長
料理長 木下貞三

名古屋市中区錦2-7-7 ブラウドタワー名古屋錦1F

Tel 052-253-8118

営業時間/17:30-22:00 定休日/水or木曜日の不定休

